

## あとのくち 跡ノ口遺跡

### 調査の概要

跡ノ口遺跡は稲沢市一色森山町に所在する。低平な尾張平野内に点在する微高地上に位置し、標高は約2mを測る。

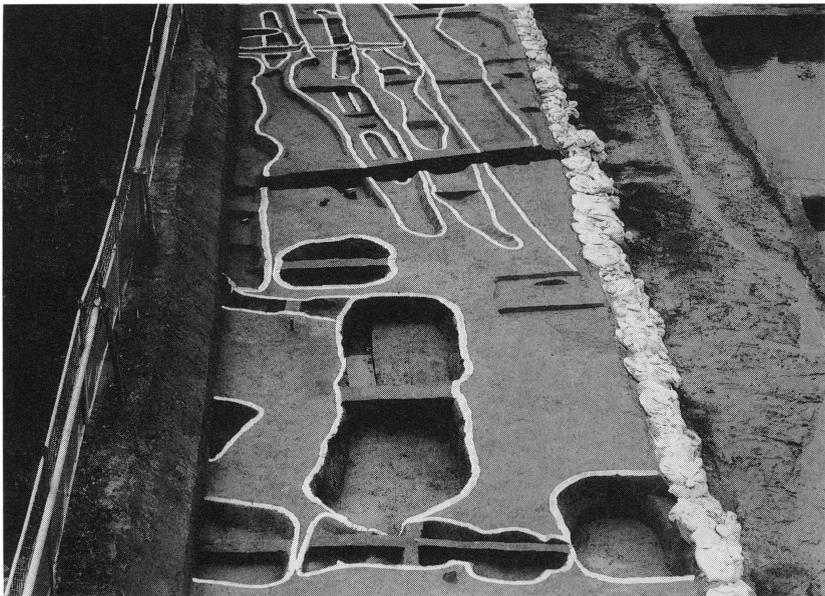
調査は県道馬飼井堀線建設に伴う事前調査として、平成3年4月から7月にかけて実施した。

調査区はA・B・Cの三つに分かれ、いずれも島畑と水田の両者にまたがる部分である。このうちC区では何も検出されず、最近まで水田であったことが判明した。遺構・遺物はおもにA・B区で検出された。

A区では中世の大溝のほか古代から中世にかけての土坑が多数検出された。しかし、調査区の約3分の1は最近まで水田であり、そのためほとんど削平されていた。

B区ではおもに中世の土坑を検出した。しかし、ここも農業用水管の埋設や水田の拡張によって遺構が削平されていた。

遺跡付近の島畑は水田を埋め立てて設けたもののほかに、もともとの微高地を畑としていたもののあることがわかった。つまり、現在の島畑点在という景観は、自然堤防を寸断した結果である部分をも含んでいることになる。そして当初から島畑であった部分（微高地）において遺跡が削平を免れていたことが明らかになった。 (服部俊之)



島畑部の遺構